

「マタイ11章」

イントロ:

1. 文脈を確認してみよう。
 - (1) 前回は、12使徒の派遣の記事。
 - (2) イエスの活動が広がっていく時期。
 - (3) バプテスマのヨハネの登場。
 - (4) それを契機に、イエスは2つのテーマについて論じている。
 - ①リーダーはいかにあるべきか。
 - ②どういう人が救われるのか。
2. 以上の2点は、現在の日本が抱える問題でもある。
3. きょうのメッセージのアウトライン
 - (1) バプテスマのヨハネの質問
 - (2) 良いリーダーと、悪いリーダーの違い
 - (3) 救われる人と、救われない人の違い

マタイ11章は、2つの問題に答えを与えている。

I. バプテスマのヨハネの質問

1. 長期間獄中にあった。
2. 弟子たちの報告
 - (1) イエスはさほどの成功を収めていない。
 - (2) ユダヤ人の指導者たちは、イエスを拒否している。
3. バプテスマのヨハネの不安
 - (1) 自分が描くメシア像と異なる。
 - (2) メシア的王国は、いまだに成就しない。
 - (3) 自分は獄中にいる。
4. 不安の原因
 - (1) 神の国のプログラムを理解していない。
 - (2) メシアの来臨は、2度ある。
 - (3) 12使徒たちも理解していない。
5. 質問の内容
 - (1) あなたがメシアなのか。
 - (2) あるいは、誰か別の人を待つべきか。

6. イエスの回答

- (1) イエスは人の弱さを知っている。
- (2) 行って、聞いたり見たりしていることを報告せよ。メシア的「しるし」
イザヤ 35:5～6、61:1などを踏まえた回答。
- (3) 「わたしにつまずかない人は幸いです」

II. 良いリーダーと、悪いリーダーの違い

1. 良いリーダー

- (1) 風に揺れる葦
 - ①時代の風潮、人々の意見、権威などによって立場を変える人。
 - ②信念の人。「絶対に譲れないものを持っているか」
- (2) 柔らかい着物を着た人
 - ①裕福な生活に慣れ、ぬくぬくと暮らしている人。
 - ②荒野で叫ぶ声。それゆえ、人々は出て行った。
(例話) 牧師が病気で倒れた教会での奉仕。
エレミヤ 32 章。アナトテにある畑を買い取る。
- (3) 預言者
 - ①旧約聖書の系譜に属する預言者である。
 - ②預言者よりもすぐれた者。メシアの先駆者。
- (4) マラキ3:1は、バプテスマのヨハネにおいて成就した。
(例話)『ダメな政治リーダー』の特徴(朝日 2007.11.14)
複数の有名人の意見を集約して書かれたもの。
 - ①言語能力が低く、説明が冗長でアピール力がない。
 - ②自分の利益最大化だけを狙う。
 - ③本当に強い敵の前では自分を出せなくなる。
 - ④意思決定がぶれて、つじつまの合わない発言をする。
 - ⑤どうしても譲れない、大切なものがない。
- (5) 女から生まれた者の中で最高
 - ①旧約聖書の聖徒の中で最高。
 - ②バプテスマのヨハネに関する資料が不足している(使徒 19 章は参考になる)。
 - ③天の御国の一番小さい者でも、彼より偉大。
 - ④新約時代の聖徒のこと。
 - ⑤ヨハネは、十字架と復活を目撃しないで死ぬことが暗示されている。

2. 悪いリーダー

- (1) ヨハネの働きが始まって以降、天の御国の進展を妨害する人々がいる。
- (2) 主役はパリサイ人であり、脇役はサドカイ人。
- (3) 旧約聖書が預言していたメシアと、メシア的王国を拒否した。
- (4) メシア的王国を受け入れていたなら、ヨハネは来るべきエリヤとなっていた。
 - ① マラキ4:5～6
 - ② エリヤ自身が戻ってくることになる。
- (5) 彼らがイエスを拒否した理由。
 - ① 表面的理由
 - * ヨハネの断食を批判
 - * イエスの飲み食いを批判
 - ② 本当の理由
 - * パリサイ的傲慢
 - * ヨハネとイエスを操ろうとしたが、うまく行かなかった。

III. 救われる人と、救われない人の違い

1. 救われない人

- (1) コラジン、ベツサイダ、カペナウム
 - ① コラジンの記録はない。
 - ② ベツサイダは、ペテロとアンデレ、ピリポの故郷。5000人の奇蹟。
 - ③ カペナウムは、伝道の拠点となった町。
 - ④ これらの町々で、イエスはメシアであることを証明する「しるし」を行った。
 - ⑤ しかし、彼らは信じなかった。
- (2) ツロとシドン、ソドム
 - ① ツロとシドンは、傲慢のゆえにアッシリヤによって滅ぼされた。
 - ② ソドムは、不道德のゆえに硫黄の火によって滅ぼされた。
- (3) 裁きの日には、ガリラヤの町々の方がより重い罰を受ける。

2. 救われる人

- (1) 単純な真理
- (2) 賢い者や知恵ある者には、光が届かない。
- (3) 幼子には、光が届く。
 - ① 見下されている人、貧しい人、謙遜な人
 - ② 自分の限界を知っている人は、霊の目が開かれる。
- (4) 霊的真理は、啓示されて初めて分かるものである。

(5) イエスは、再び幼子たちを招く。

①「疲れた人、重荷を負っている人」:ミシュナのユダヤ人の重荷

②イエス自身が休ませてくださる。

③「わたしのくびきを負って」:ラビ的用語。「わたしの学校に入りなさい」

④イエスのくびきは負いやすく、その荷は軽い。

* 「キリストの律法」 ガラテヤ6:2

* 形式ではなく、実質

* 外側からではなく、内側から出るいのち

* 人間的な努力でなく、聖霊の働き

結論

1. 神は、私たちが幼子のようになり、救いを受けることを願っている。
2. 神は、信じた者がどのような特権に与っているかを知ることが願っている。
3. 神は、信じた者が良きリーダーとして成長することを願っている。